

授業科目 社会福祉援助技術演習Ⅰ

【担当教員名】 塩見・豊田・村上・柴山・丸田・横山（豊）・廣瀬 松井・松山	対象学年 開講時期 単位数	2 後期 2	対象学科 必修・選択 時間数	社会 必修 30
---	---------------------	--------------	----------------------	----------------

【概要】

社会福祉の専門援助技術を事例や実技を通して習得する。社会福祉援助技術現場実習ⅡAの事後指導を含む。

- 1 社会福祉援助技術現場実習ⅡAを総括する。
- 2 社会福祉援助技術の基礎を習得する。

【学習目標】

- 1 基礎的な社会福祉援助技術を習得する。
- 2 社会福祉援助技術現場実習ⅡAの報告・発表会を行う。

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	現場実習Ⅱ Aを振り返る。	ゼミごとにグループ学習を行う。 現場実習Ⅱ Aの報告・発表会は学年全体で行う。
2	同上	
3	同上	
4	同上	
5	同上	
6	ジェノグラムとエコマップを描く。	
7	利用者理解の方法を学ぶ。	
8	同上	
9	信頼関係について学ぶ。	
10	同上	
11	生活場面面接について学ぶ。	
12	同上	
13	事例を検討する	
14	同上	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	『実習生のための対人援助技術』社会福祉実習研究会編		中央法規	2001年
参考書	『社会福祉援助技術演習』久保絃章編		相川書房	2002年
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する。			

【評価方法】

ゼミへの出席状況、受講態度、レポート等を総合的に評価する。

【履修上の留意点】

担当教員によって内容に変更があるので、担当教員の指導に基づいて受講すること。